

# DVD上映会 田辺鶴瑛の 介護講談

参加  
無料



## 田辺鶴瑛の 介護講談



女流講談師・田辺鶴瑛さん(60歳)が、実母・義母・  
義父の三人の介護体験をもとに創作したオリジナル  
講談を収録したドキュメンタリー作品。

日時

2017. 2. 24. (金)

13:15~15:00

(上映時間90分)

会場

森林総合研究所本所 2階 大会議室  
(TV会議にて支所等に中継あり)

出演

田辺 鶴瑛 氏 田辺 銀治 氏  
講談師

笑いあり、涙あり。  
介護する人必見!!

通常、認知症介護と聞くと「つらい、大変、苦しい」といったイメージで語られがちですが、この介護講談は涙と笑いの感動家族劇です。

三人の介護をやり切った鶴瑛さんは、介護に対する心構えや感覚が突き抜けています。

昼も夜もない、家族全員を巻き込んだ認知症在宅介護ですが、そこに笑いや遊びを加えて、絶妙な力加減の介護が繰り広げられます。

「おじいちゃんなんて、今までともに話したこともない、赤の他人と思っていた。」

という孫(鶴瑛さんの娘の銀治さん・同じく女流講談師)も巻き込んで、次第に家族の絆が強まっていきます。

(映画『田辺鶴瑛の「介護講談」』HPより)

講師プロフィール：田辺 鶴瑛 (たなべ かくえい) 11月22日生まれ。平成2年11月 田辺一鶴に入門 平成3年5月 講談協会前座「あか美」平成6年3月 ニッ目昇進「鶴瑛」平成15年10月 真打昇進 平成20年10月 「鶴瑛」に改名 主な読み物は「三方ヶ原軍記」「姉川合戦」「仏縁物語」 新作：「ほっとけ心の天晴れ介護講談」「未来の子供達への環境講談」





# これを見ると介護が楽しくなる!?

「大好きになつたら…お別れの時がくるんだねえ」

じいちゃんが教えてくれたのは  
「いまが たいせつだ」ってこと

高齢化社会の現代、誰にとっても  
決して他人事とは思えない  
「家族の介護」にどのように向き合うべきか？  
目からウロコのヒントが満載です。



女流講談師・田辺鶴瑛さんが、義父の在宅認知症介護の実体験を基に創作した、  
大好評のオリジナル講談をライブ収録しました。



## 田辺 鶴瑛

昭和30年11月22日  
北海道函館市生まれ。  
地元小中学校卒業。  
札幌藤女子短期大学別科卒業。  
19歳のとき母が死亡。  
結婚、出産、子育ての後、  
義母が倒れ3年間の介護。  
義母の死後、平成2年に  
講談師・田辺一鶴に弟子入り。  
平成15年真打昇進。  
平成17年認知症義父を在宅介護、  
平成23年に在宅看取り。



介護が楽しくなった！ ———— 娘・講談師：田辺銀冶

母・田辺鶴瑛は10代から実母の介護に明け暮れました。結婚後は、私を育てながら今度は義母の介護。「一生懸命やったはずなのにちっとも喜ばれない」と悩む日々。そんな母に三度目のチャンス(!)が到来したのは2005年。今度こそ「感謝」の介護がしたいと認知症の義父を在宅介護することになり、父や私を巻き込んで大奮闘。ところがある日、母のちょっとしたアイデアが転機となり、いつしか私達のほうがおじいちゃんに癒されていることに気づいたのです。そうして家族の絆も深まっていきました。泣いて笑って最後にはホッと肩の力がほぐれるような私達の介護経験を母・鶴瑛がひとつの講談にしました。



## 自主上映会募集中

介護について、在宅医療について、命の結びつきについて、地域のみんなで考えてみませんか？ 詳しくは「映画・田辺鶴瑛の介護講談」ホームページにて。 <http://kaigo-kodan-movie.net/>